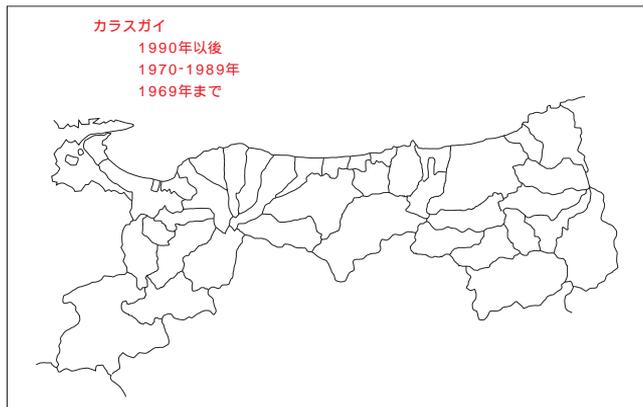


カラスガイ イシガイ目イシガイ科
Cristaria plicata (Leach, 1815)

鳥取県：絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN)

環境省：準絶滅危惧(NT)



選定理由：琵琶湖など一部を除き、全国的に減少傾向下にあり、絶滅が心配される。県下でも湖山池で確認されているに過ぎず、近年の確認個体数はきわめて少ない。

形態と生態：殻長20cm前後の大型種。鉸歯（こうし：殻の蝶番部分の歯）は後側歯のみを有し、鉸歯のない形態的によく似たドブガイと区別できる。大河川や湖沼の泥底に生息し、潟湖起源の湖に生息地が多い。

分布(県内)：鳥取市湖山池。

分布(県外)：北海道南部，本州，九州北部；中国，台湾，シベリア，朝鮮半島，東南アジア。国内では広く分布するが、既知産地の多くで絶滅しているようである。

生息環境：湖沼や大きな川の下流域の泥底。多少の海水が混在する水域でも生息する。

保護上の留意点：唯一判明している産地である湖山池では、夏季にアオコの大発生があるなど、水質にも問題があるので、これらの改善が必要である。また、湖沼ではブラックバスの移入や汚濁の進行により、多くの在来淡水魚が減少あるいは絶滅している。カラスガイなどのイシガイ類は、幼生の寄生魚種を選択する傾向があるので、寄主がいなくなることによって、世代交代が阻害される可能性がある。

特記事項：日本水産資源保護協会（水産庁依託）でも希少種。近年の調査（谷岡浩氏）では、湖山池に琵琶湖産のマルドブガイが定着しているようなので、同様に湖山池では琵琶湖産のメンカラスガイ型も混在している可能性がある。

文献：

波部忠重 (1973) 17 軟体動物 Mollusca . In: 上野益三 (編) 日本淡水生物学 , pp. 309-341. 北隆館.

波部忠重 (1977) 日本産軟体動物分類学 , 二枚貝綱 / 掘足綱 . 北隆館 . 372pp.

増田 修 (1994) 3. カラスガイ . pp. 19-24 + 3 pl. In: 日本の希少な野生水生生物に関する基礎資料(I)-I . 軟体動物 , 日本水産資源保護協会 .

執筆者：増田 修